

第8回合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略 有識者会議次第

日時：令和元年7月11日(木) 午前10時から
場所：合志市役所2階 大会議室

1 開 会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

4 構成員紹介

5 会長・副会長選出

6 議 事

(1) まち・ひと・しごと創生推進事業について

- ① 女性の「ワーク・ライフ・デザイン」サポート事業（P1～）
- ② 健康都市こうし推進事業（P5～）
- ③ クリエイター創業育成事業（P19～）
- ④ 文化を核とした観光交流拠点整備計画（P36～）
- ⑤ 食と農による人と地域経済の健康づくり推進事業（P48～）
- ⑥ 官民広域連携による女性輝く地域づくり事業（P50～）
- ⑦ 自然共生型産業を核とした地域未来投資促進プロジェクト（P55～）
- ⑧ 既存公共施設・機能の集積を活かした、多世代が集う健康・知の拠点づくり推進（P71～）

(2) 意見交換

7 その他

8 閉 会

合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議【構成員名簿】

令和3年5月31日まで

区分	氏名	団体・企業名	分野
産	山 辺 一 範	一般社団法人クラッシーノこうし 事業本部長	商業
	上 田 耕 太 郎	株式会社 グランドデザイン・アドバイザーズ 代表取締役	マーケティング、土地利用
学	今 村 芳 仁	国立大学法人熊本大学 熊本創生推進機構イノベーション推進部門 教授	イノベーション、産学官連携
	永 野 典 詞	学校法人 九州ルーテル学院大学 人文学科 学科長	社会福祉、障害者福祉、児童福祉
金	岩 岡 俊 宏	株式会社肥後銀行 合志支店長	金融
	末 永 博 敬	株式会社熊本銀行 合志支店長	
	黒 木 重 光	株式会社日本政策金融公庫 熊本支店 国民生活事業 融資第二課長	
労	池 永 けい子	合志市商工会 女性部長	商業、工業、企業
	大 賀 盛 博	自治労合志市職員組合 執行委員長	労働団体
教育 (言)	坂 本 夏 実	合志市教育委員会 教育委員	教育・文化

第8回合志市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議時間割表

令和元年7月11日

時間	内容	備考
10:00~10:15	開会、委嘱状交付、市長あいさつ、構成員紹介、会長・副会長選出	
10:15~10:25	女性の「ワーク・ライフ・デザイン」サポート事業	女性・子ども支援課
10:25~10:35	健康都市こうし推進事業	健康づくり推進課
10:35~10:45	クリエイター創業育成事業	生涯学習課
10:45~10:55	文化を核とした観光交流拠点整備計画	生涯学習課
10:55~11:05	食と農による人と地域経済の健康づくり推進事業	生涯学習課
11:05~11:15	官民広域連携による女性輝く地域づくり事業	商工振興課
11:15~11:25	自然共生型産業を核とした地域未来投資促進プロジェクト	商工振興課
11:25~11:35	既存公共施設・機能の集積を活かした、多世代が集う健康・知の拠点づくり推進	秘書政策課
11:35~11:50	意見交換	
11:50~	その他	
	閉会	

まち・ひと・しごと創生推進事業 事業別台帳

■2019(令和元)年度

【所管課：女性・子ども支援課】

事業名	女性の「ワーク・ライフ・デザイン」サポート事業	事業区分	3-①- (1)
基本目標	市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	数値目標	合志市の合計特殊出生率を高める 5年間で1.95に上昇 子育てに不安や負担を感じる親、保護者の割合を改善する 不安や負担を感じる割合を5年間で60%に改善
主な施策	女性・子ども支援室設置によるトータルサポートの推進	KPI	地域サポーター養成講座受講者数 5年間で150人 自立支援プログラム受講者数 5年間で150人

【事業目的】

※現在の課題及び今後必要な対応をふまえること
本市では、子育て世帯の転入も多く、女性が社会で輝くことができる時期を過ごしている。多岐に亘るライフステージ（就職～結婚～出産～子育て～キャリアUP～職場復帰・再就職～アクティブシニア）の中で、総合的にデザイン・サポートする取組を加速化させることで、人財の発掘やクオリティの底上げができる考える。
本事業にて、多機能型ワンストップ拠点及び少子化対策を目的に、①地域サポーター養成、②支援ネットワーク構築、③相談業務（キャリアUP支援含む）、を実施し、“日本らしさ”の特長に即した“日本版女性ワーク・ライフ・デザイン”の先進モデルを確立する。

■KPI：地域サポーター養成講座受講者数 150人（5ヶ年累計）／達成時期：H32年3月（実績）H27:32人 H28:12人 H29:19人 H30:33人
自立プログラム受講者数 150人（5ヶ年累計）／達成時期：H32年3月（実績）H27:15人 H28: 6人 H29: 9人 H30:15人

【事業概要】

①地域サポーター養成講座
地域の家族を見守ることができる「目」を養うために、ルーテル学院大学の専門家を招き、子どもの貧困・子ども虐待などについて、幅広い知識や奥深さを学ぶことができる基礎からの講座を開催。
今後の展望としては、子ども虐待防止に関する各種啓発活動への参加、「気づく」ということから一歩踏み出し市の相談窓口へ繋ぐ役割、関連する様々な拠点での活動なども視野に入れた、サポーターの具体的な活動を推進していきたい。

②自立支援プログラム
女性の社会進出に伴う職場復帰や再就職を後押しする支援として、ステップアップセミナーを開催。
結婚や出産・子育て後の女性の職場復帰や再就職をするためのスキルを身につけるセミナーを実施し、女性の社会進出を図る。
今後の展望としては、セミナーの開催形態・内容の検討、受講者の増を目標とした周知方法の検討を行い、女性の社会進出の更なる強化を図りたい。

■事業期間： 2015～2019（平成27～31）年
■平成30年度の予算額（補助金等財源がある場合は名称・補助率・額等を記載）： 1,454千円【（交付率： 0千円）】

【事業の仕組み・体系図】

①地域サポーター養成講座
（平成30年度）平成30年10月～平成31年1月（全8回 内3回はサポーター登録者のフォローアップ講座）
連携先：九州ルーテル学院（包括連携協定先）
講座の構成から助言があり、専門性の高い講座を行うことができる。
知識を習得した市民が増えることで、地域の見守り体制が強化され、気づきの目が増える。
サポーターに登録した市民が、今後具体的な活動を行う。子ども虐待防止に関する各種啓発活動への参加、女性・子ども支援課への情報提供、各拠点（放課後学童クラブなど）での活動などを検討している。
平成31年度も日中の講座に加えて、夜間講座も開催。日中は仕事で参加できないが、意欲のある方、関心のある方をターゲットに、サポーターの増を目指す。

②自立支援プログラム
（平成30年度）平成30年11月～12月（全3回）
女性の社会進出の促進を図ることを目的に、結婚や出産・子育て後の女性の職場復帰や再就職をするためのスキルを身につけるセミナーを実施。プロポーザル方式により企画運営業務の受託者を決定する。就労に向けたスキルを身につけることができるようなカリキュラム構成とし、働くことの必要性や意義、目標の認識等具体的にイメージできるように意識改革を行う。また、受講後の個別フォローアップ（実際の就職へのつなぎ、キャリアカウンセリング等）も実施。

【2019（H31）年度 予算内訳】

			（単位：千円）	
節	項目	内訳	計	節計
時間外勤務手当	地域サポーター養成講座職員時間外勤務手当	2,460円×2H×2人×5回	50	50
報償費	地域サポーター養成講座講師謝礼	10,000円×2H×12回	240	240
食糧費	講師お茶	110円×13本	2	2
役務費	通信用切手	82円×120通	10	10
委託料	自立支援プログラム講師派遣委託料		1,100	1,100
			事業費計	1,402

【行程表】 2015～2019（平成27～31）年度 実施計画

実施年度	K P I	行程：P I		検証・その他
2015 (H27)	・自立支援プログラム受講者：30人 ・サポーター養成講座受講者：30人	8月	自立支援プログラム1回目実施	D
		11月	自立支援プログラム2回目実施	
		11月	サポーター養成講座実施（11月～2月・全講座8回）	実施状況確認・検証 C A
		12月	次年度事業の検討・予算要求	
2016 (H28)	・自立支援プログラム受講者：30人 ・サポーター養成講座受講者：30人	11月	自立支援プログラム実施	D
		12月	サポーター養成講座実施（12月～1月・全講座6回）	
		12月	次年度事業の検討・予算要求	実施状況確認・検証 C A
		1月	サポーター養成フォローアップ講座実施（全講座2回）	
2017 (H29)	・自立支援プログラム受講者：30人 ・サポーター養成講座受講者：30人	5月	サポーター養成講座についてルーテル学院との打ち合わせ	P D
		6月	自立支援プログラム企画提案書募集	
		7月	自立支援プログラム事業者プレゼンテーション実施 自立支援プログラム委託事業者決定及び契約締結 サポーター活動説明会（予定）	C A
		8月	自立支援プログラム受講者募集	
		9月	サポーター養成講座受講者募集	
		10月	自立支援プログラム実施 サポーター養成講座実施（10月～12月・全講座6回）	
		12月	次年度事業の検討・予算要求	
		1月	サポーター養成フォローアップ講座実施（全講座2回）	
2月	自立支援プログラム委託事業完了・事業報告書の確認	事業のやり方見直し・検証 C A		
2018 (H30)	・自立支援プログラム受講者：30人 ・サポーター養成講座受講者：30人	5月	サポーター養成講座についてルーテル学院との打ち合わせ	P D
		7月	自立支援プログラム企画提案書募集	
		9月	自立支援プログラム事業者プレゼンテーション実施 自立支援プログラム委託事業者決定及び契約締結 サポーター養成講座受講者募集	C A
		10月	自立支援プログラム受講者募集 サポーター養成講座実施 （10月～12月 全5回 日中・夜間の2クール） サポーター登録者フォローアップ講座実施 （10月、1月 全3回）	
		11月	自立支援プログラム実施（11月～12月 全3回）	
		12月	次年度事業の検討・予算要求	
		2月	自立支援プログラム委託事業完了・事業報告書の確認	
2019 (H31)	・自立支援プログラム受講者：30人 ・サポーター養成講座受講者：30人	6月	サポーター養成講座についてルーテル学院との打ち合わせ 自立支援プログラム委託事業者決定及び契約締結 サポーター登録者活躍拠点の検討	P D
		8月	自立支援プログラム受講者募集	
		9月	自立支援プログラム実施（9月～10月 全3回） サポーター養成講座受講者募集	C A
		10月	サポーター養成講座実施 （10月～12月 全5回 日中・夜間の2クール）	
		12月	次年度事業の検討・予算要求	
		1月	サポーター登録者フォローアップ講座実施（1月 全2回）	
		2月	自立支援プログラム委託事業完了・事業報告書の確認	

【補足資料】

「女性の「ワーク・ライフ・デザイン」サポート事業」(女性・子ども支援課)

平成 30 年度の実施内容

1. 地域サポーター養成講座 C=291,000 円

平成 30 年 10 月～平成 31 年 1 月：全 8 回講座 内 3 回はフォローアップ講座

地域の家族を見守ることができる「目」を養うために、ルーテル学院大学の専門家を招き、子どもの貧困・子ども虐待などについて、幅広い知識や奥深さを学ぶことができる基礎からの講座を開催しています。

参加者は、学童クラブのスタッフを始め、一般市民の方でも講座内容に関心のある方、志ある方など幅広い立場の方達に参加を頂いています。平成 30 年度は、参加しやすいよう、日中の講座に加えて夜間講座も開催しました。(H30 年度参加者=33 人)

事業費は、講師に対する報酬 26 万円、講師用お茶代、切手代、職員時間外手当です。今後の展望として、子ども虐待防止に関する各種啓発活動への参加、「気づく」ということから一歩踏み出し市の相談窓口につなぐ役割、関連する様々な拠点での活動などを視野に入れた、サポーターの具体的な活動を推進していきます。



2. 自立支援プログラム C=1,163,000 円

平成 30 年 11 月～12 月：全 3 回講座

女性の社会進出に伴う職場復帰や再就職を後押しする支援として、ステップアップセミナーを開催しています。結婚や出産・子育て後の女性の職場復帰や再就職をするためのスキルを身につけるセミナーを実施し、女性の社会進出を図ります。

プロポーザル方式により企画運營業務の受託者を決定し、委託により業務を進めます。委託料は 116 万円です。

就労に向けたスキルを身につけることができるようなカリキュラム構成とし、働くことの必要性や意義、目標の認識等具体的にイメージできるように意識改革を行います。また、受講後のフォローアップ（実際の就職へのつなぎ、キャリアカウンセリング等）も充実させています。



まち・ひと・しごと創生推進事業 事業別台帳

■2019（令和元）年度

【所管課：健康づくり推進課】

事業名	健康都市こうし推進事業	事業区分	1-①-(1)
基本目標	1. 稼げる地域産業をつくる	数値目標	雇用創出及び創業者数を増やす 5年間で100人(者) 市町村民所得を増やす 5年間で5%上昇
主な施策	①産官学医が連携した地域版ヘルス産業の推進	KPI	新ヘルスケア産業分野サービス創出 5件(5ヶ年累計)~H31 新ヘルスケア産業市場における新規雇用数 25人(")~H31

【事業目的】

「背景(地域特性・課題)」

熊本県は、平均寿命は長いものの健康寿命が短く、医療・介護にかかる期間が長くなっている。その中において当市は、国保特定健診受診率が人口同規模自治体と比べ5%低く、健診未受診者で生活習慣病者にかかる一人当たり医療費が著しく高い(人口同規模自治体27,285円に対し当市36,453円)という地域課題を抱えている。全国的にも、医療費の約3分の1(9.8兆円)は生活習慣病関連である。この部分は、公的保険外の予防・健康管理サービス産業を積極的に創出することにより、医療費の適正化につながる分野である。

地域経済分析システムの活用により、当市の産業構造において付加価値額や雇用を生み出しているのは、特定の製造業のみであり他に柱がないことや、域内での滞在や消費が行われていないとの地域課題が分析された。そこで、「健康」をキーワードとし、他産業(新ヘルスケア産業等)の育成及びそこから創出される雇用増や、域内の消費を増加させる施策はこれら課題の解決に効果的であると考える。

「事業目的」

平成27年度に設立された地域版次世代ヘルスケア産業協議会「ウエルネスシティこうし」(民間主導で設立・当市・医療機関等他業種参画)(以下、同会という。)が中心となり、慢性期医療にかかる医療費を、公的保険外のサービスを活用した予防・健康管理へとシフトを行う。同会は、セルフメディケーションの推進、新産業の創出による地域経済の好循環、市民等の健康増進、あるべき医療費の適正化をコンセプトに置き、①新ヘルスケア産業市場の開拓・育成・拡大、②地域経済の活性化、③①及び②から生じる新規雇用の創出を目的とする。

■ KPI：新ヘルスケア産業分野サービス創出数	1件	／達成時期：H31年3月
新ヘルスケア産業における新規雇用数	5人	／達成時期：H31年3月

【事業概要】

「事業概要」

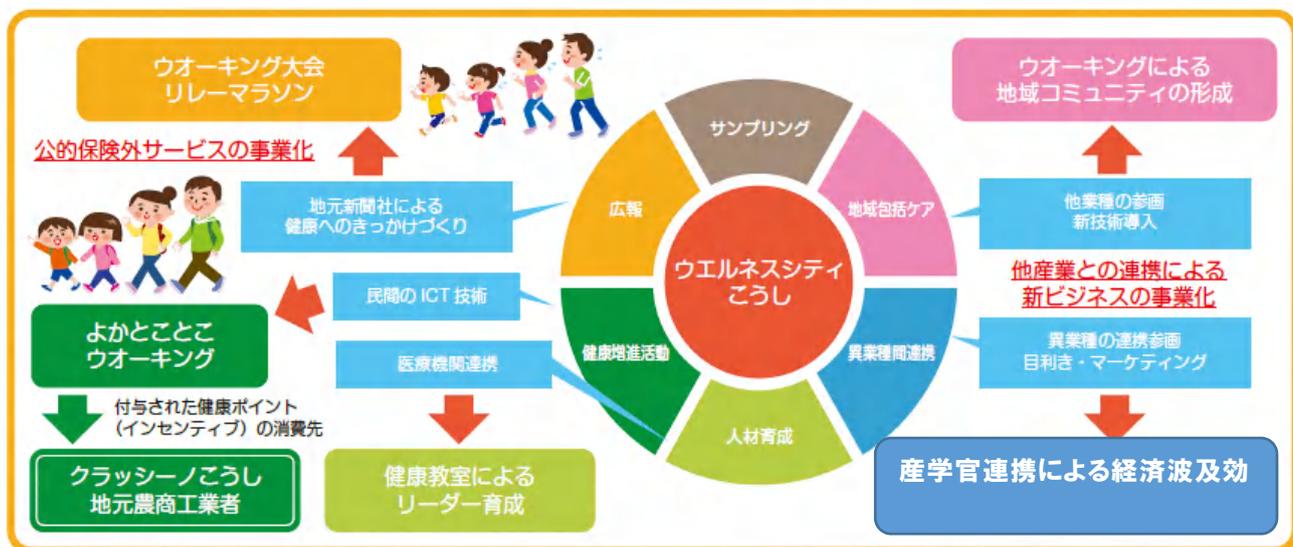
同会では、健康活動サービスと食育サービス及び地域経済活性化をパッケージ提供するシステム(こうし市よかところウォーキング、オリジナルSATシステム、AGEs測定、INBODY測定、最終的には地域市民ID・プラットフォーム等)の構築・稼働を行い、日常的に健康活動に取組む基盤の整備を行う。本事業は同会の目的達成に向けて取り組みを加速化させるため、以下の取り組みを実施する同会を支援するとともに、参画機関として主体性を発揮する。

《健康増進推進事業》

- ①イベント事業(リレーマラソンやウォーキングイベント等)の開催
- ②こうし市よかところウォーキング事業
- ③各種健康づくり事業(健康教室・食育指導・効果測定会(血液検査ほか)・健康診断受診勧奨事業)
- ④有料会員向け高付加価値サービス(フォーラムやイベント参加割引制度、AGEs測定事業など)

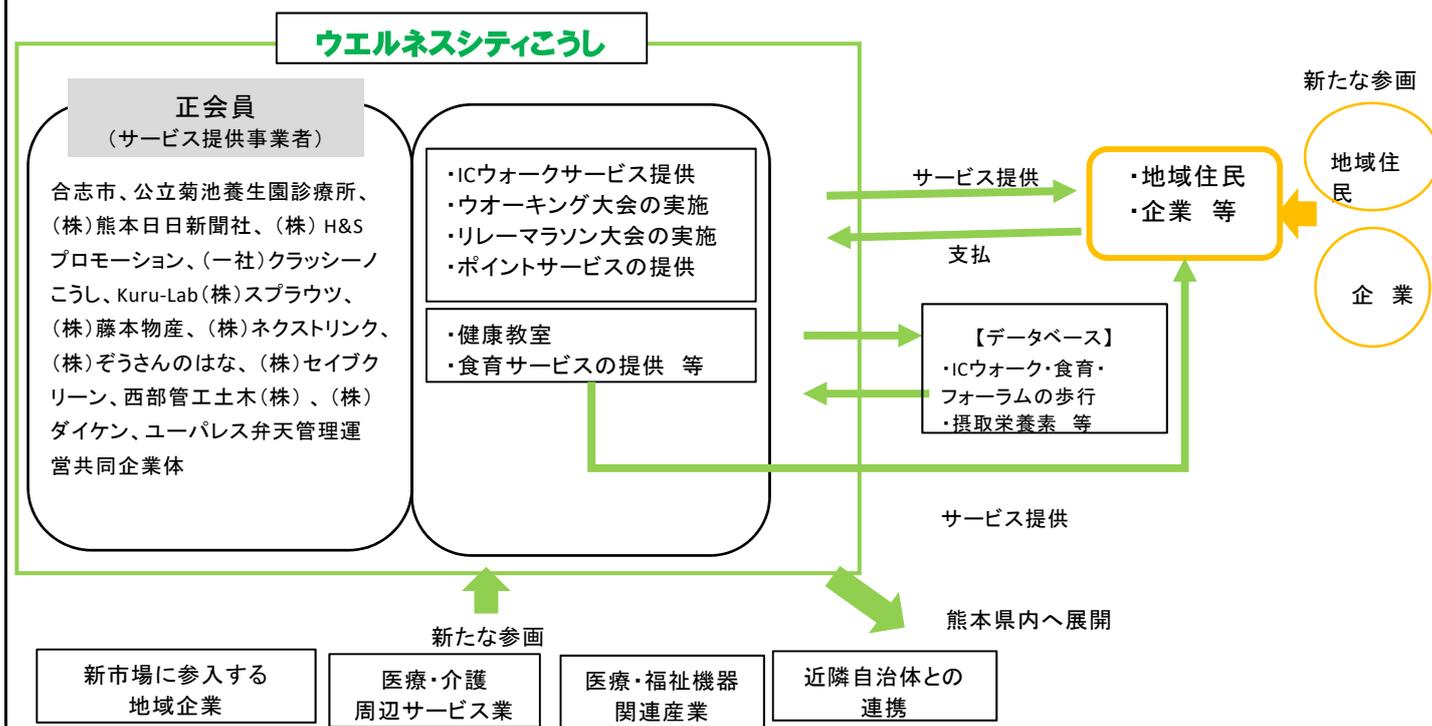
《産業振興事業》

- ①異業種間連携による産業振興
他産業と「健康・食育・地域包括ケア」をキーワードにした同会の利用会員をモニターとしての事業展開等により地域経済活性化及びヘルスケアビジネス創出から生まれる新規雇用増を目指す。
- ②総合プラットフォームのよる情報活用事業



■事業期間： 2015～2019(平成27～31)年度	■平成30年度の予算額(補助金等財源がある場合は名称・補助率・額等を記載)： 14,140千円【地方創生推進交付金(交付率1/2:7,000千円)】
--------------------------------	---

【事業の仕組み・体系図】



【2019年度 予算内訳】 (単位：千円)

節	項目	内訳	計	節計
負担金	健康都市こうし推進事業負担金	地方創生推進交付金分	6,500	6,500
	健康都市こうし推進事業負担金 (年会費含む)	単独費分	6,620	6,620
				0
				0
事業費計				13,120

【行程表】 2015～2019 (平成27～31) 年度 実施計画

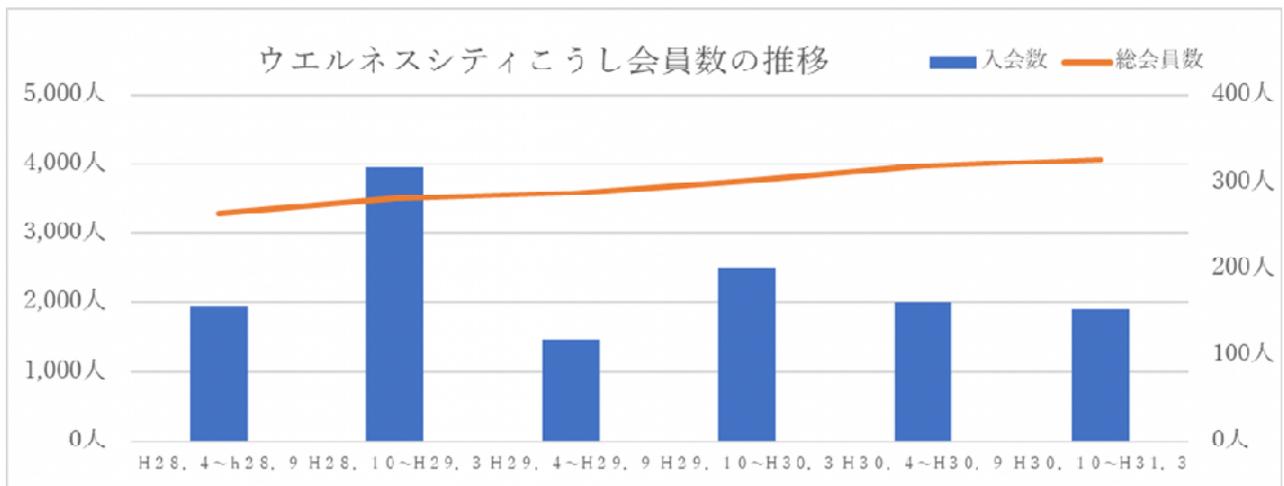
実施年度	KPI	行程:PI		検証・その他	
		行程	実績		
2015 (H27)	■スポーツフォーラム参加者:500人 ■スポーツ大会参加者:3,000人	9月	■健康増進事業(基礎交付金)着手		P D C A P D C
		9月12日	健康増進フォーラムの開催	532人	
		11月7日	ウォーキング大会の開催	1024人	
		10月～11月	開始測定会	300人	
			効果測定会	228人	
		11/2～3/3 7回	とことこステーション元気の森	87人	
		1/7～3/17 8回	理想のカラダプロジェクト	29人	
2016 (H28)	■新ヘルスケア産業分野サービス創出:1件(ウェルネスハウスタム開発) ■新ヘルスケア産業における新規雇用数:5人	4月	ウェルネスシティこうし理事会 健康都市こうし推進事業負担金(交付金)支出 健康都市こうし推進事業負担金(年会費)支出 熊本地震に伴う一部事業見直し		実施状況確認・検証 評価 事業計画
		5/28 8/24 11/28 2/3	お野菜プロジェクト	推定150人	
		6月	有識者会議での前年度事業の検証		前年度事業検証
		6/1～3/31	自立化支援プロデュース業務	協賛企業1社獲得 正会員3社獲得 利用会員446人獲得	
		8/30～11/22 4回	健康教室「めざせウェルネス」	実11人延35人	
		10月	健康都市こうし推進事業負担金(単独費分)支出		進捗状況確認
		10月30日	ウォーキング大会の開催(市健康まつりと同時開催)	1314人	

実施年度	KPI	行程:PI		検証・その他	
		行程	実績		
2016 (H28)	<p>■新ヘルスケア産業分野サービス創出:1件(ウエルネスパウダー-開発)</p> <p>■新ヘルスケア産業における新規雇用数:5人</p>	11/25~1/24 4回	効果測定会	実94人	D
		11/8~1/31 6回	健康教室「とことこヘルスクラブ」	実17人 延91人	
		10/12~11/30	安心安全パイロット事業(弁天コース設置)		
		11月	合志市11月もれ健診PR事業		
		12月	平成28年度事業振り返り及び平成29年度予算検討		進捗状況確認
		12/5~3/20	異業種間連携促進事業 異業種間連携によるプライベート商品開発	ウエルネスパウダー ウエルネスジュース 野菜チップス等	
		2/7~2/21	食育事業「こうし」をおいしく食べよう	1期9人2期8人	
		2/22~3/8			
		3月18日	ナイトウォーク	58人	C
		3月19日	リレーマラソン(4月からの延期)	1140人	
3月	負担金事業の完了実績確認		進捗状況確認 検証		
2017 (H29)	<p>■新ヘルスケア産業分野サービス創出:2件(①ウエルネスパウダー活用事業・ウエルネスゼリー ②こうしぼちぼち元気ポイント事業)</p> <p>■新ヘルスケア産業における新規雇用数:6人(フレッシュ工房選果場にて雇用)</p> <p>■個人会員数:3,773人(H30.3末現在)</p>	4月	ウエルネスシティこうし理事会 健康都市こうし推進事業負担金(交付金)支出		評価 事業計画 A P
		5月	総合戦略推進会議へのH28年度事業報告 H29年度事業説明		検証 戦略見直し C
		5/10~3/14 6回	食育事業「お野菜プロジェクト」	推定258人	D
		6/14~2/14 5回	健康教室「ウエルカム元気の森」	延べ143人	
		6月~11月	健康診断受診勧奨チラシ作成・配布・企業EXPO出展		
		8/10~3/31	収穫サポート及び選果サポート事業実施		
		8/10~3/31	協賛企業・正会員獲得のための営業活動	協賛企業3社獲得	
			アライアンス企業発掘活動	正会員6社獲得・アライアンス企業3社	
		8月	健康都市こうし推進事業負担金(年会費)支出		
		10月	ウエルネスパウダーを活用した商品開発及び販売(実証実験)事業実施	ウエルネスゼリー3000個	
		11月26日	ウォーキング大会の開催(市健康まつりと同時開催)	1228人	
		11/26~2/12 5回	効果測定会	89人	
		12月	健康都市こうし推進事業負担金支出		進捗状況確認 C
		12月	こうしぼちぼち元気ポイント事業実施	63人(内会員34人) 総数1687回	
3月	竹迫初市出展		C		
3月	健康都市こうし推進事業負担金支出		進捗状況確認 検証		
2018 (H30)	<p>■新ヘルスケア産業分野サービス創出:1件</p> <p>■利用会員数(個人会員数)4,064名 H31 2月末</p> <p>■正会員数 14社・団体(年度途中で1社脱退で13社)</p>	4月	ウエルネスシティこうし理事会		評価 事業計画 A P
		4月22日	カントリーパークリレーマラソン2018	222チーム 2080人 (申込2,091人)	D
		6月	総合戦略推進会議へのH29年度事業報告 H30年度事業説明		検証 戦略見直し C
		6月	ウエルネスシティこうし総会		
		7月	健康都市こうし推進事業負担金(交付金)支出		
		7月	健康都市こうし推進事業負担金(年会費)支出		
		8月~3月	CKD・人工透析予防事業	熊大と共同で分析	
6/30~3/13 7回	健康教室「ウエルカム元気の森」	延べ155人			

実施年度	KPI	行程:PI		検証・その他	
		行程	実績		
2018 (H30)	■協賛会員数10社・ 団体(年度途中で2 社脱退で8社)	10/14~12/2 4 回	効果測定会	87人	D
		10月14日	ウォーキング大会in合志市の開催(こうし市民まつりとの共同開催)	1361人(申込1419人)	
		11月	健康都市こうし推進事業負担金(交付金)支出		
		11/8、11/13	子育てママリフレッシュ健診	実28人(定員15人×2日)	
		12月	健康都市こうし推進事業負担金(交付金)支出		検証 戦略見直し C
		2/18・3/1・3/4・ 3/11・3/13 5回	プレミアム健診(未受診者対策)	35人(定員15人×5日)	
		2月23日	生活習慣病講演会「楽しく簡単にアンチエイジング」老化物質AGEsをつくりにくい生活習慣とは 講師:永井 竜児	参加者116人	
		4回、随時	AGEs測定事業	合計213人	
		3月3日	竹迫初市出展	AGEs測定	
		4月~3月	こうしぼちぼち元気ポイント事業	63人(内会員34人) 総数3,320回	C
			2月~3月	市民の健康活動推進事業	
	3月	健康都市こうし推進事業負担金(交付金)支出		検証 戦略見直し A	
2019 (H31)		前年度までの成果をふまえ、重点的取組事項を検討する			

ウエルネスシティこうし会員数の推移

月日	入会数	総会員数
H28. 4~h28. 9	156人	3,300人
H28. 10~H29. 3	316人	3,500人
H29. 4~H29. 9	117人	3,587人
H29. 10~H30. 3	200人	3,773人
H30. 4~H30. 9	160人	3,973人
H30. 10~H31. 3	153人	4,075人



平成30年度ウエルネスシティこうし事業実績詳細

■健康増進推進事業 ①ウォーキングコース整備

内容	既存のウォーキングコース等にポイントが付与する筐体の設置を行い、歩くことや健康活動等で、利用者にはポイントが加算される。貯まったポイントは、クラッシーノこうしで地場製品の購入の割引に使える。カード発行料 500 円
設置場所	元気の森公園、妙泉寺公園、ヴィーブルメインアリーナ 2 階、セミコンテクノ中央公園、弁天山公園
利用店舗	クラッシーノ・マルシェ
特典	特典 1) ウォーキング 1 km で 1 ポイント、お買い物 200 円で 1 ポイント、各種イベント参加で特別ポイント(1 円=1ポイントで交換) 特典 2) Web 上で歩行情報や消費カロリー等の健康活動を管理できる。

ウエルネスシティこうし利用会員 (4,075 名)

平成 31 年 3 月末日時点

年代	会員数			会員全体における比率		
	年代計	男	女	年代比率	男	女
80 代以上	221	122	99	5.4%	3.0%	2.4%
70 代	880	365	515	21.6%	9.0%	12.6%
60 代	905	335	570	22.2%	8.2%	14.0%
50 代	513	164	349	12.6%	4.0%	8.6%
40 代	639	233	406	15.7%	5.7%	10.0%
30 代	357	116	241	8.8%	2.8%	5.9%
20 代	131	44	87	3.2%	1.1%	2.1%
10 代	282	147	135	6.9%	3.6%	3.3%
0 代	105	51	54	2.6%	1.3%	1.3%
年齢不明他	42	32	10	1.0%	0.8%	0.2%
合計	4,075	1,609	2,466	100.0%	39.5%	60.5%



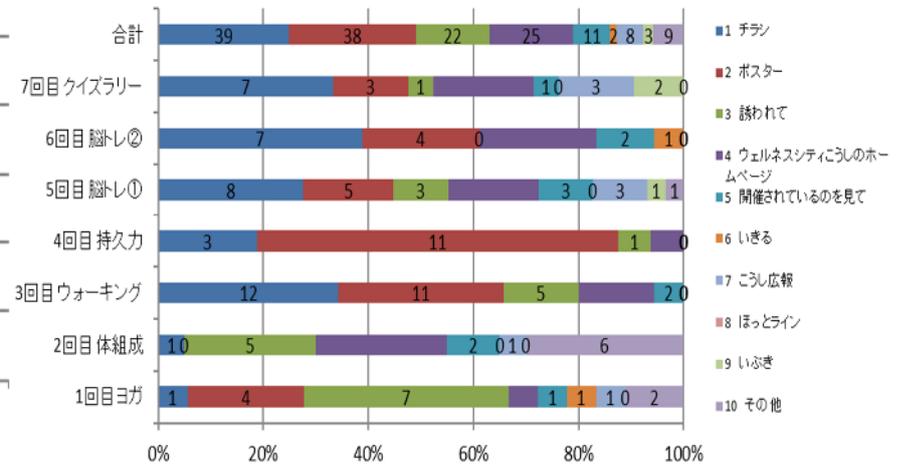
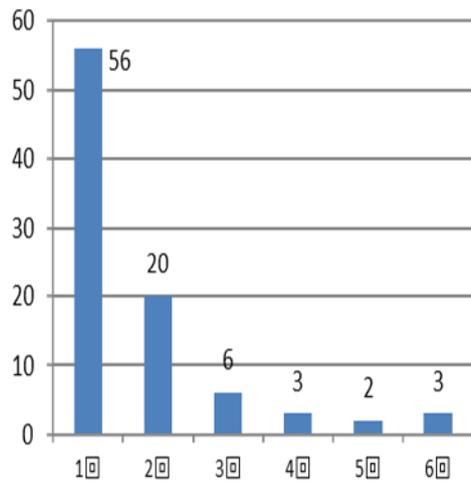
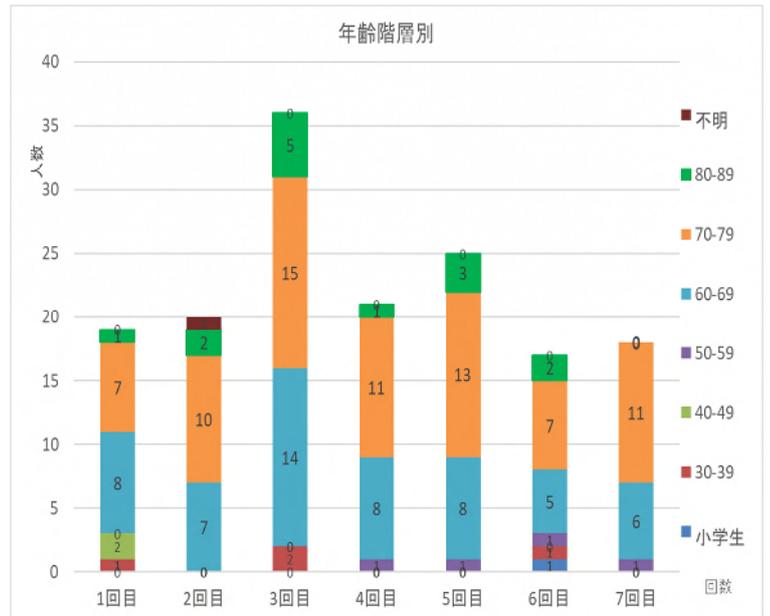
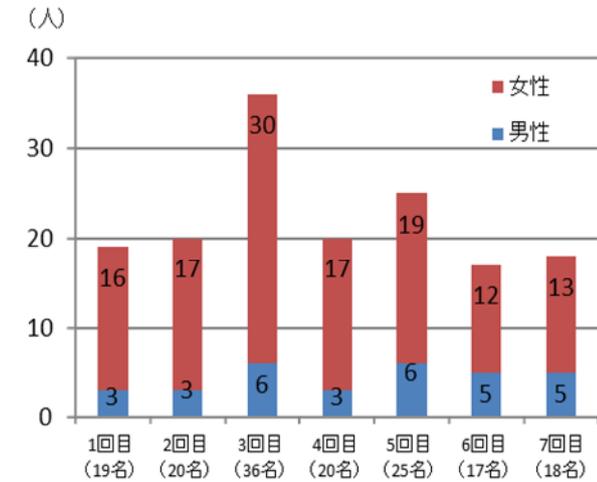
■健康増進推進事業 ②健康教室 ウェルカム元気の森

概要	健康づくりを継続して行う場所づくりと仲間づくりをサポートすることを目的として、筐体が設置されている元気の森公園を中心に、体組成測定と筋力トレーニング(ラダーやヨガなど)を定期的に行っている。
内容	脳トレ、ウォーキングセミナー、体組成測定、筋トレ、青空ヨガ、脳トレエクササイズ、健康クイズラリー
開催日	平成 30 年 6 月 13 日(水)～平成 31 年 3 月 13 日(水) 全 7 回
参加者数	延べ 155 人 ウエルネス募集分 延べ 231 人(合同開催分含む)

実施内容

	開催日	時間	場所	内容	参加者数	備考
第 1 回	平成 30 年 6 月 13 日(水)	午前 10 時～11 時	元気の森公園	青空ヨガ	合志市 17 人 菊池市 20 人 その他 2 人	合同開催
第 2 回	平成 30 年 7 月 11 日(水)	午後 1 時～4 時 (内 1 時間)	養生園	トレーニング・ヨガ・体組成測定体験会	合志市 20 人 菊池市 23 人	合同開催
第 3 回	平成 30 年 10 月 17 日(水)	午前 10 時～11 時	元気の森公園	ウォーキング講座	合志市 35 人 熊本市 1 人	
第 4 回	平成 30 年 11 月 14 日(水)	午後 1 時～4 時 (内 1 時間)	養生園	持久力UPセミナー	合志市 18 人 菊池市 29 人 熊本市 2 人	合同開催
第 5 回	平成 31 年 1 月 9 日(水)	午前 10 時～11 時	元気の森公園	脳トレ	合志市 25 人 菊池市 3 人 熊本市 1 人	
第 6 回	平成 31 年 2 月 9 日(土)	午前 10 時～11 時	元気の森公園	脳トレ	合志市 13 人 菊池市 2 人 熊本市 2 人	
第 7 回	平成 31 年 3 月 13 日(水)	午後 1 時～2 時	養生園	クイズラリー	合志市 11 人 菊池市 3 人 熊本市 4 人	

ウェルネス募集分 実施状況



考察)

●ウェルカム元気の森へ参加する住民・会員が増加した。

参加者数は 29 年度 143 名から 30 年度 155 名へと増加した。増加した理由としては、チラシやポスターで周知したこと、市広報や市社協広報誌への開催告知を行ったことが考えられる。2 回目の「トレーニング・ヨガ・体組成測定体験会」、4 回目の「養生園持久力 up セミナー」は菊池養生園での開催であったが、元気の森公園と比較して参加者数が減少するという事はなかった。また、3 回目の「ウォーキング講座」は 36 名と最も参加者多かった。要因としては、気候や天候が良かったことや、ウォーキングに関心がある人が多いことが考えられる。

6 回目は土曜日開催であったため、若い世代の参加を想定していたが、小雨が降り厳しい天候だったため、公園利用者がほとんどいなかった。しかし、定期参加者の参加があり、開催できた。また、土曜日の開催のため小学生との親の参加があった。また、各回毎の年齢分布をみると、1 回目のヨガは他の回に比べて参加者年齢が 40 代以下の人が多く、3 回目のウォーキング講座では、80 代の参加者も 5 名が見られた。

●「健康づくりについての情報を知りたい」「運動を始める、続けるきっかけのため」とい目的の参加者が多かった。

●セミナー参加者同士のつながりができ、広がっている。

●ウェルネスシティこうし会員のセミナー継続参加が多く、健康意識が高い。

参加回数が多かった 3 回以上の参加者を見てみると、93%がウェルネスシティこうし会員であった。

健康増進推進事業 ③子育てママリフレッシュ健診

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層が健診を設けることで、健康や健診を身近に感じる。 ・参加者同士が食を通して健康について意識し合う機会となり、健診・がん検診を毎年受診する意識が高まるきっかけとなる。 ・紹介した調理のコツを普段の暮らしに取り入れ、参加者の家族や知人と食について健康づくりの取り組みを話題にする人が増える。
実施内容	1.生活習慣病健診受診（2018年度健康診断受診済み者は不要）2.カラダのお悩み相談会 3.楽しく体を動かしながらリラックスタイム 4.野菜たっぷりランチ 5.託児付き
開催日	第1回 平成30年11月8日 第2回 平成30年11月13日
会場	養生園
当日スケジュール	受付 10時00分～10時15分 健康診断 10時00分～11時00分（受付終了者から順次実施） セミナー・昼食 11時00分～12時30分 終了
対象者	合志市にお住まいの26～39歳の女性で職場等で健診を受ける機会がない人
参加料	健診費用分 1,500円（2018年度健康診断受診済みの場合は無料）
募集方法	10月11日 区長便にて地区回覧開始、申込受付開始 10月31日 申込受付終了
参加者数	第1回 14人（申込者数16人）・・・1人は子供の急な病気で欠席、1人はキャンセル待ち欠席 第2回 14人（申込者数15人）・・・1人は子供の急な病気で欠席
参加者特性	母親の平均年齢 33.4歳 託児利用人数 22人（子供22人）、利用率 78.6%

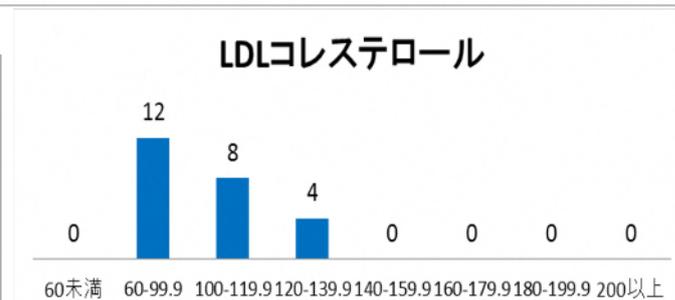
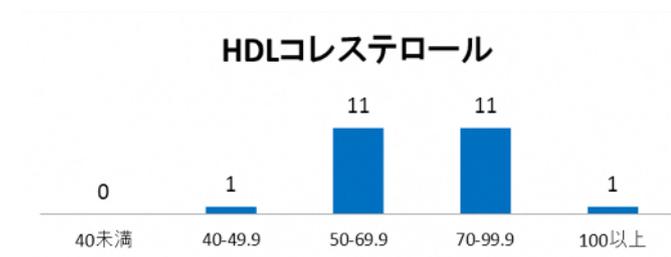
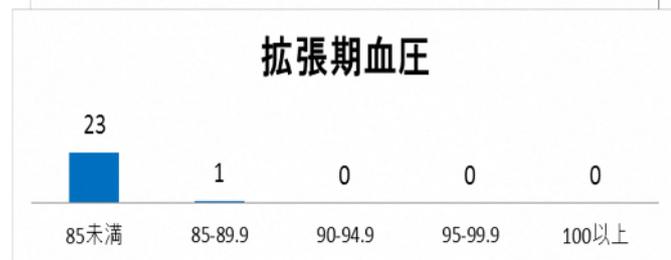
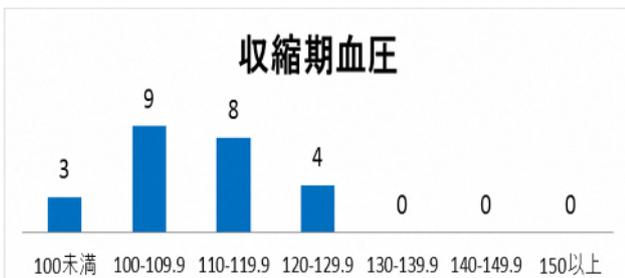
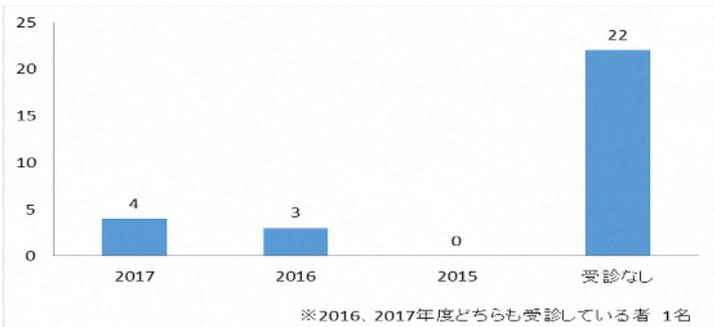


※養生園での過去3年の健診受診状況

受診あり6人(21.4%) 受診なし22人(78.6%)

※託児月齢別人数分布

託児月齢	人数	人数割合
0～6ヶ月	2	9.1
6ヶ月～1歳	3	13.6
1歳～1歳半	6	27.3
1歳半～2歳	2	9.1
2歳～2歳半	4	18.2
2歳半～3歳	2	9.1
3歳以上	3	13.6



考察)

- 健診・健康への意識が高い者が、健診受診や体組成測定とその結果説明、これからの健康づくりに関する話を聞いて意識が更に高まった。
- 血液検査結果は基準値以上の者が数名みられ、In Body 結果では身体の部位ごとの筋肉量が少なく脂肪量が多い者が数名みられた。このことから、参加者は健康意識が高い傾向にあったが健康行動には結びついていない者もいたことがわかった。
- 子育て中に取り組みやすい筋力トレーニングなどをセミナーで実施すると健康意識が健康行動に結びつきかけとなることが考えられる。
- 「今後受けてみたい健康サービス」では、全員がいずれかにチェックしていた。暮らしの中での健康の優先度が高まり、それを家族や知人等と話す気持ちが高まった。
- 「託児つき」「子供と楽しめるランチつき」の健診は、子育てママのニーズに合っていたと思われる。
- 催行限度人数は食事提供状況から15名が妥当であるが、託児の保育士は3人は必要であった。
- 参加キャンセル待ちが発生したため、同様のセミナーを開催する場合は実施日数を増やすことを検討必要。

■健康増進推進事業 ④効果測定会

健康づくりについてウエルネスシティこうし事業の効果検証として89名に対して血液検査、身体計測、血圧測定、体力測定を実施。	
事業内容	体力測定/ 3分間歩行、椅子座り立ち、片足立ち 身体測定/ BMI、腹囲、血圧 血液検査/ HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪、血糖値、HbA1c
開催日時	平成31年10月14日(日) こうし市民まつり会場内(カントリーパーク) 11月27日(火) ふれあい館 12月1日(土) 泉ヶ丘市民センター 12月2日(日) 御代志市民センター ※11月27日以降は、対象者から測定希望に応じて平日に限り養生園内で随時実施。 受付開始時間 9:00、9:45、10:30、11:15(計4回/日)10月14日、菊池養生園開催時は随時開始 効果測定時間 約45分間/人



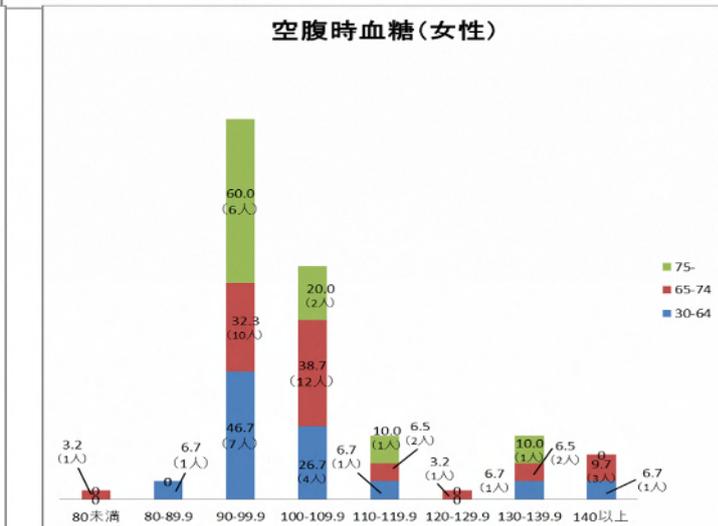
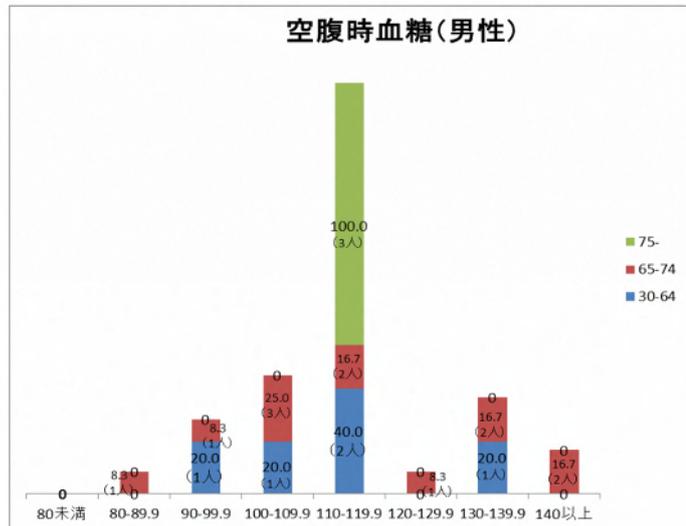
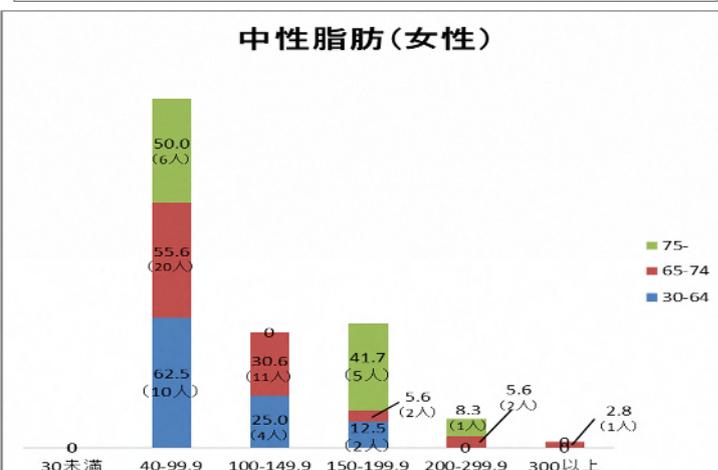
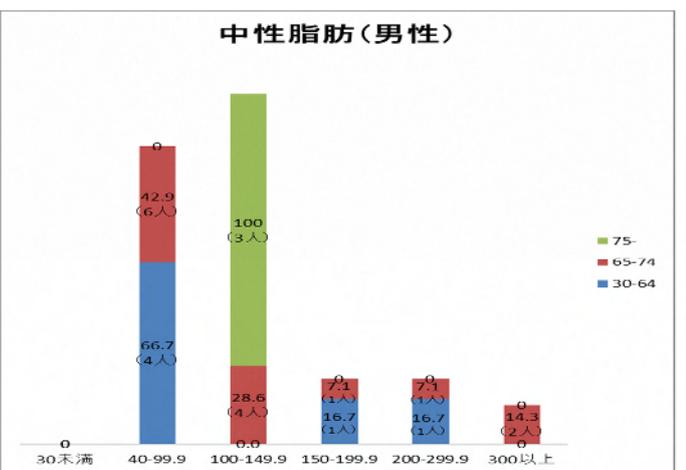
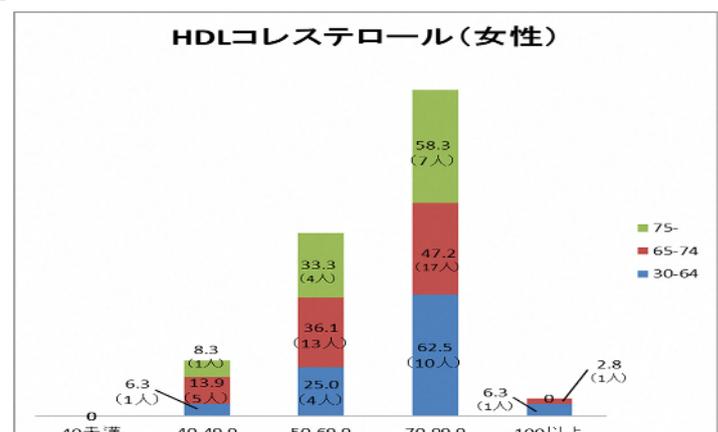
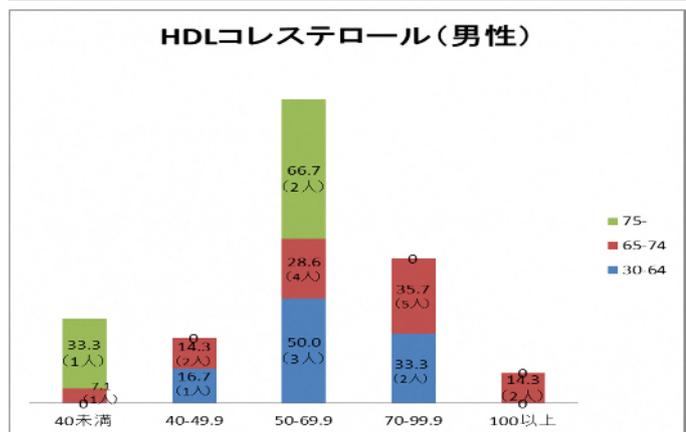
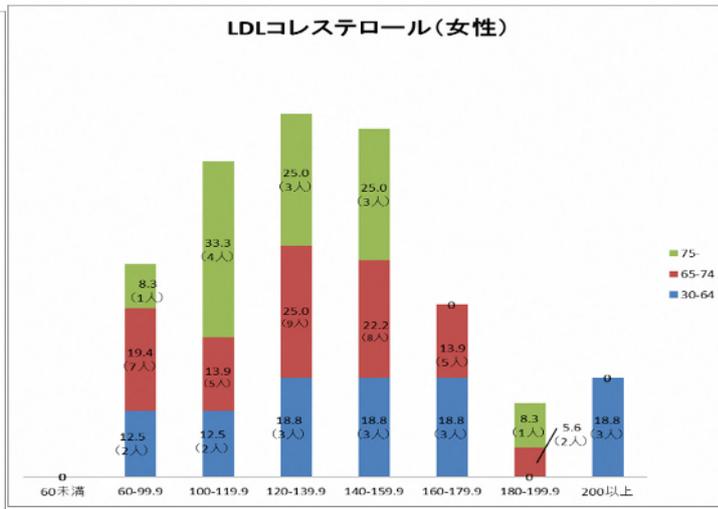
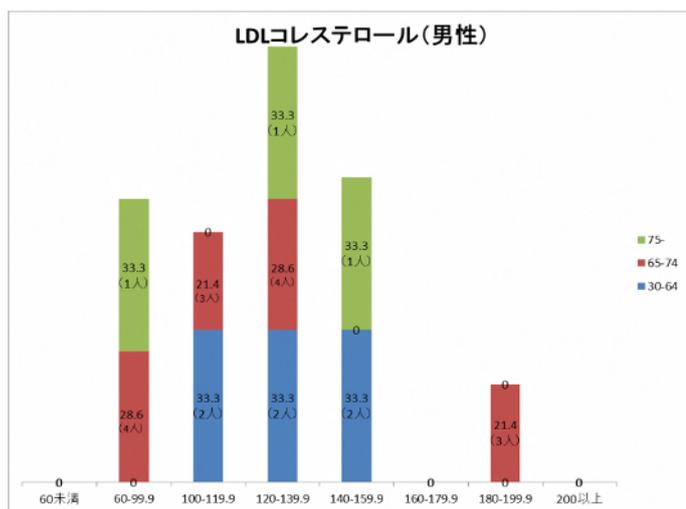
考察)

- 歩行距離が身体計測・血圧・血液検査、体力測定、体組成測定結果の改善に寄与していることは確認できなかった。
- 身体計測・血圧・血液検査結果について、男性は75歳以上で他の年代と比べて良い値を示していた。
- 身体計測・血圧・血液検査結果について、女性は何の年代にも値に大きな差はみられなかった。
- 体力測定結果について、男女ともどの年代にも値に大きな差はみられなかった。
- 体組成測定結果について、男女ともどの年代にも値に大きな差はみられなかった。
3～5に関し、年齢を重ねても健康状態や体力、筋肉量を維持できていることがわかった。
- 空腹時血糖、HbA1cは65～74歳代で高値者が多く、LDLコレステロールは30～74歳代で高値者が多い傾向ある。
- 今年度は全対象者に対して、事前案内で「〇月〇日に〇〇様の測定会予定を入れています。」といった日程通知文書によるコミットメントを行った結果、効果測定会予定日に参加の行動をとる者が増えた印象があった。

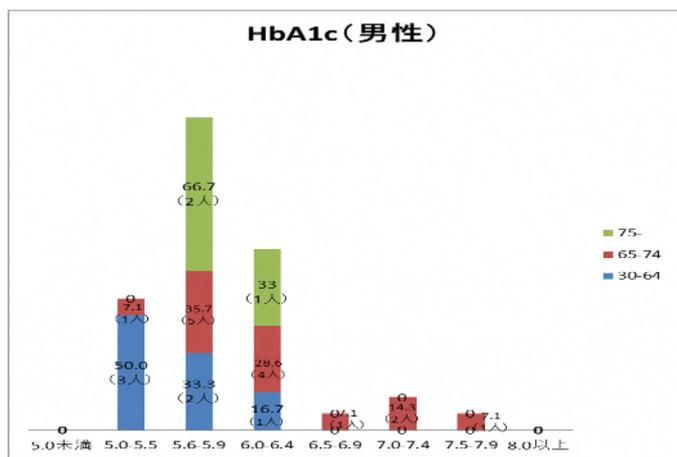
		合志市	熊本市	大津町	山鹿市	性別・日程別計	性別計	合計
男性	10月14日(日) こうし市民まつり カントリーパーク	1	1	0	0	2	23	87
	11月27日(火) ふれあい館	5	0	0	0	5		
	12月1日(土) 泉ヶ丘市民センター	8	1	0	0	9		
	12月2日(日) 御代志市民センター	5	1	0	0	6		
	随時開催分 養生園	1	0	0	0	1		
女性	10月14日(日) こうし市民まつり カントリーパーク	1	1	0	0	2	64	
	11月27日(火) ふれあい館	12	1	0	0	13		
	12月1日(土) 泉ヶ丘市民センター	25	0	1	1	27		
	12月2日(日) 御代志市民センター	18	1	0	0	19		
	随時開催分 養生園	3	0	0	0	3		

検査項目別結果<男性>

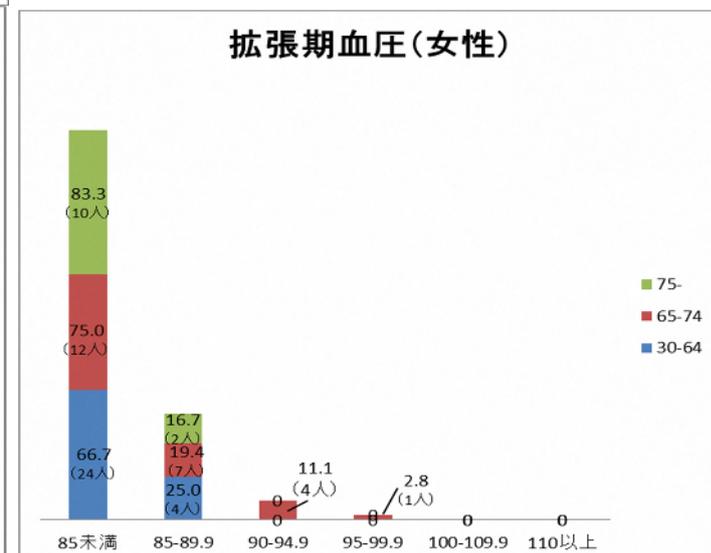
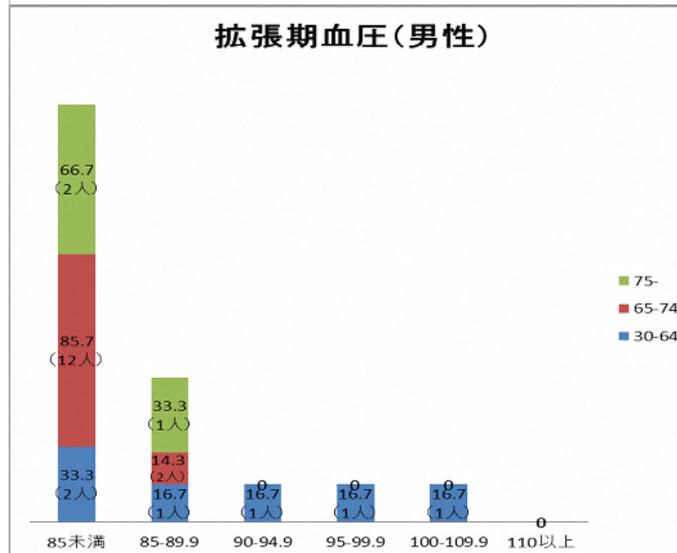
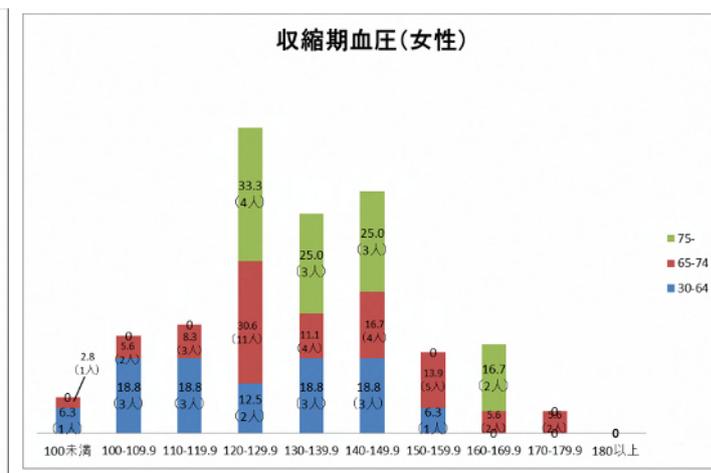
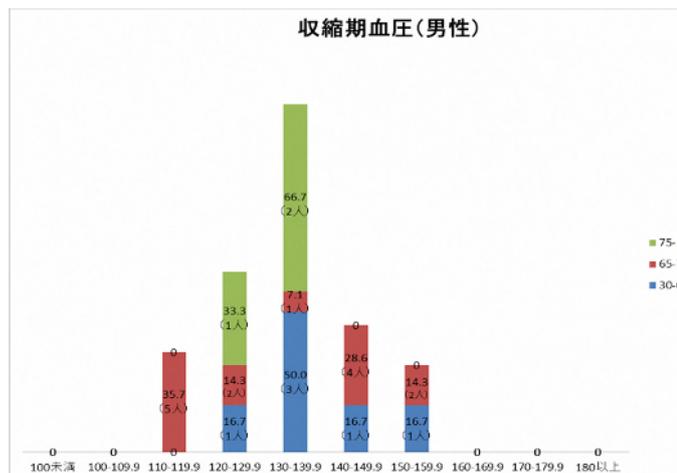
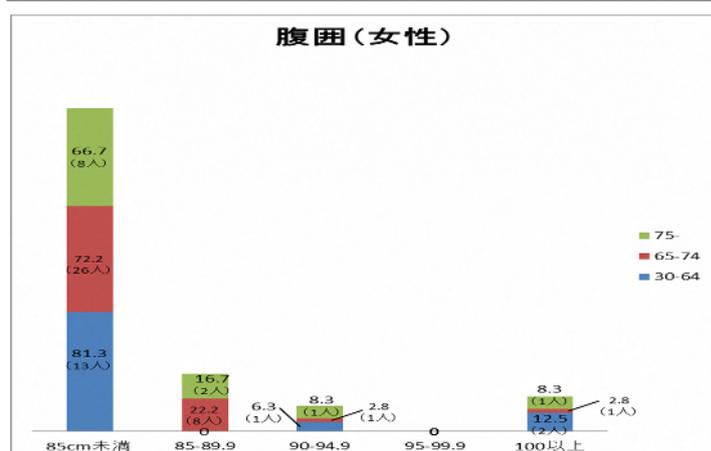
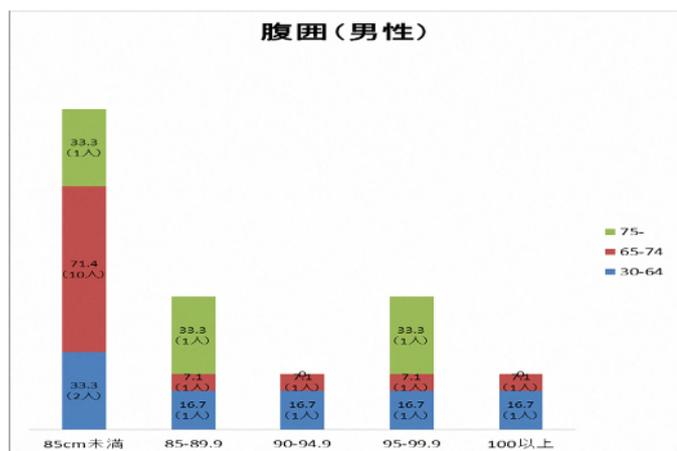
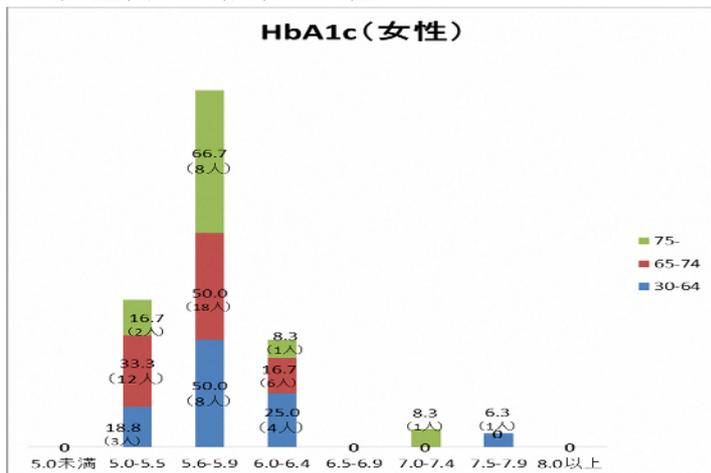
検査項目別結果<女性>



検査項目別結果<男性>



検査項目別結果<女性>



健康増進推進事業 ⑤プレミアム健診

目的	1. 特定健診の受診率向上。 2. 健康について意識する機会にとり、健診・がん検診を毎年受診する意識が高まるきっかけとなる。 3. 健診未受診者が健診を設けることで、健康や健診を身近に感じる。
実施内容	1 特定健診受診（2018年度健康診断受診済み者は不要）体組成測定 2 講話・運動実践（体組成測定結果説明、筋肉を増やし体脂肪を減らす運動と食事の勧め、ストレッチ、筋力トレーニング実践）3.頭とカラダを使って楽しくコミュニケーションタイム 3.サニタスカフェランチ喫食
開催日	第1回 平成31年 2月 18日(月) 第2回 平成31年 3月 1日(金) 第3回 平成31年 3月 4日(月) 第4回 平成31年 3月 11日(月) 第5回 平成31年 3月 13日(水)（第4回は参加者1名だったため中止し、日程振替対応）
会場	養生園
対象者	合志市国保加入者で、40～74歳の平成30年度特定健診未受診者
当日スケジュール	受付 10時00分～10時15分 健康診断 10時00分～10時45分（受付終了者から順次実施） セミナー 10時45分～11時30分 昼食 11時30分～12時30分（終了）
参加料	健診費用分 1,500円（2018年度健康診断受診済みの場合は無料）
募集方法	各戸チラシ回覧(1/17、1/31)、広報
参加者数	第1回11名 第2回7名 第3回 7名第4回0名(日程変更) 第5回 10名 計35名 (定員15名/回)
参加者特性	参加者平均年齢 62.6歳



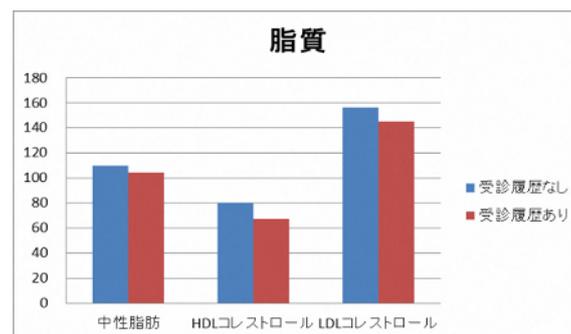
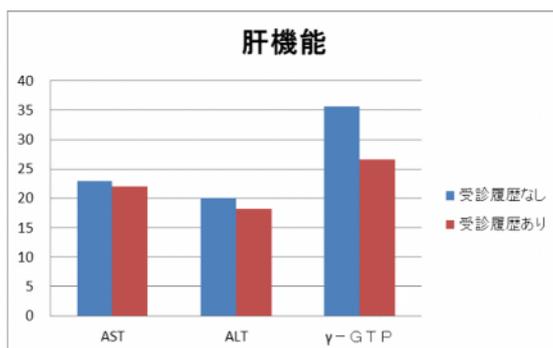
※養生園での過去3年の健診受診状況

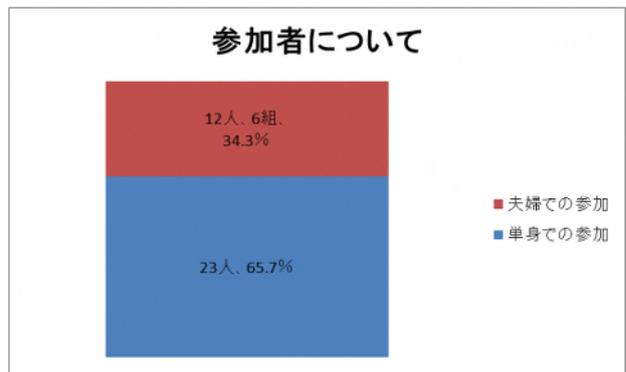
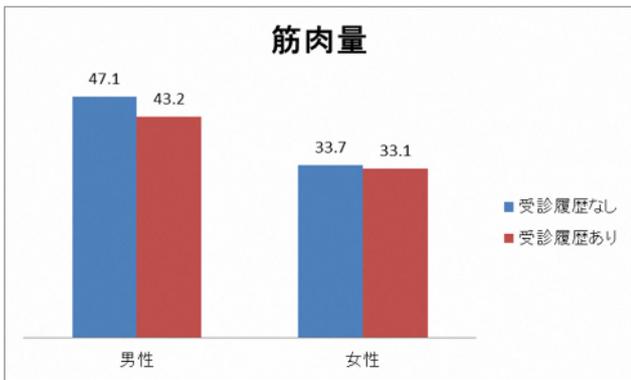
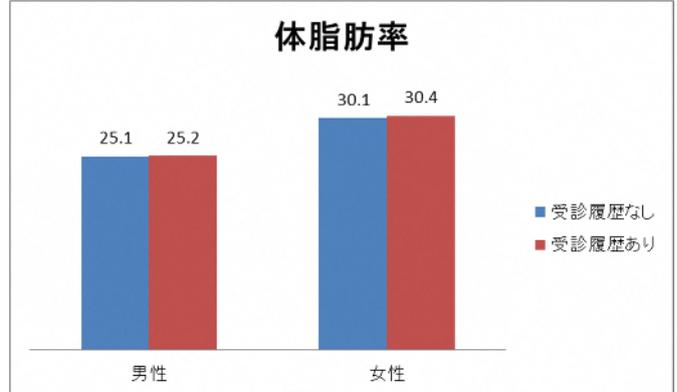
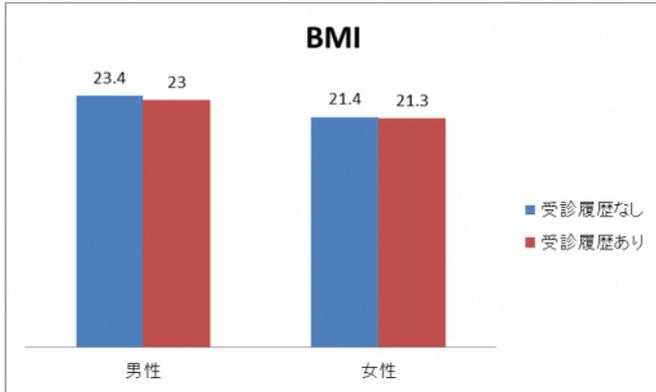
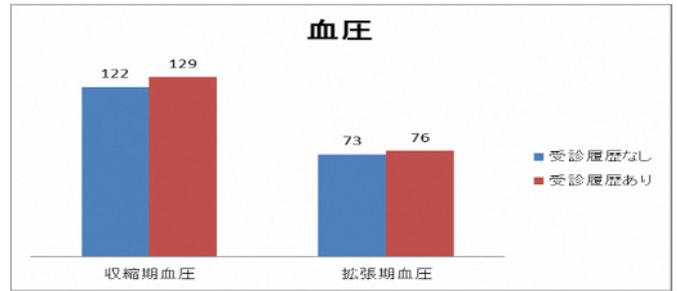
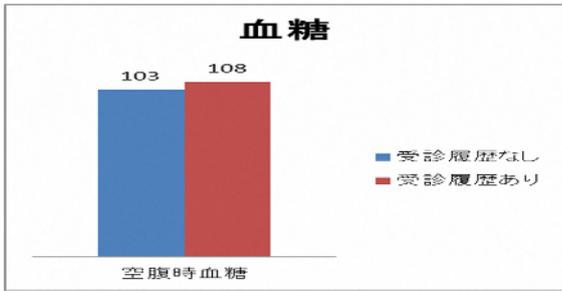
	受診なし	受診あり	合計
男性	4人	6人	10人(28.5%)
女性	11人	14人	25人(71.4%)
合計	15人(42.9%)	20人(57.1%)	35人(100%)



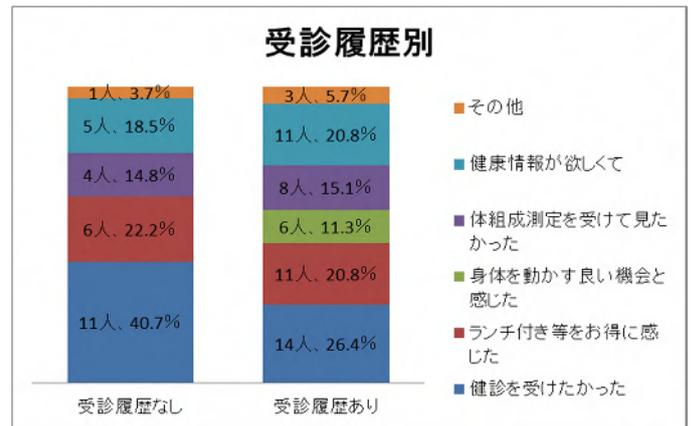
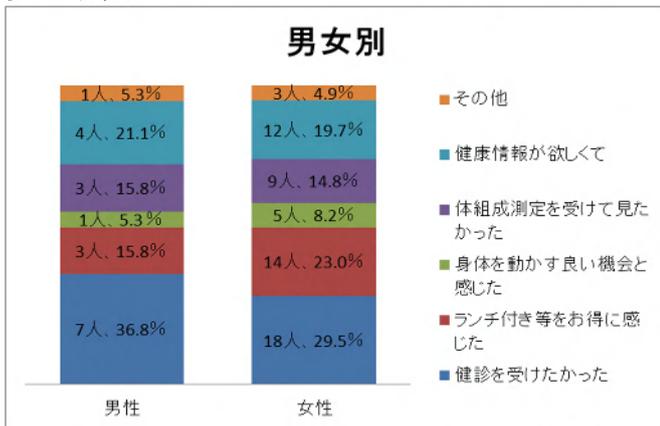
考察)

- 参加者の15名(約43%)が健診未受診者(養生園過去3年)だったため、健診を受診する良いきっかけとなった。
- 受診履歴がある人が血圧血糖では平均値より高く、未受診者では肝機能や脂質では平均値より低かった。
- 体組成測定に関しては、受診履歴の有無で大きな差はなかった。
- 「ランチ付き」「体組成測定」「運動の紹介」の健診は、健康には関心はあるが健診にはあまり関心のない人たちにニーズがあったと考えられる。
- 今回プレミアム健診を受診し、「また利用したい。」「定期的に利用したい。」等の意見(アンケート)が多かったことを踏まえると今後の特定健診受診につなげることができた。
- 受診履歴なしの方の80%が1000・1500円健診料金以外に金額がかかっても受診したいとの回答から、1000円程度健診料金以外に負担してもらっても希望者がいると考えられる。
- 参加動機より、女性はランチ付き等の付加価値のあるものに興味を惹かれると思われる。また、受診履歴のない方はまず健診を受けたい気持ちがあり、受診履歴のある方は「身体を動かす良い機会と感じた」という回答より健診は受けたことがあるのでその結果よりどのようにすればよいか知りたいという気持ちがあると推測される。
- 参加者のうち12人(6組、34.3%)は夫婦での参加であった。今後は、夫婦健診や親子健診など、誰かと一緒に参加することで健診に来やすくなるような事業も効果があるのではと考えられる。

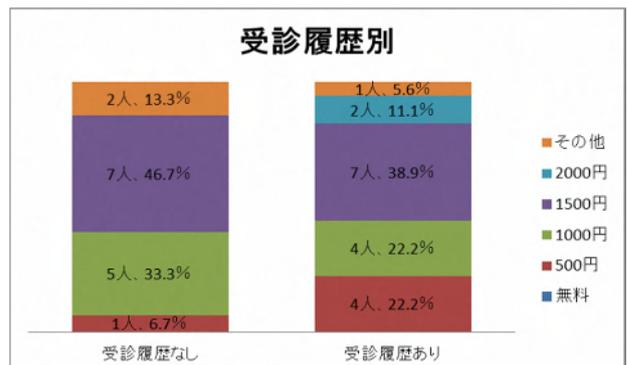
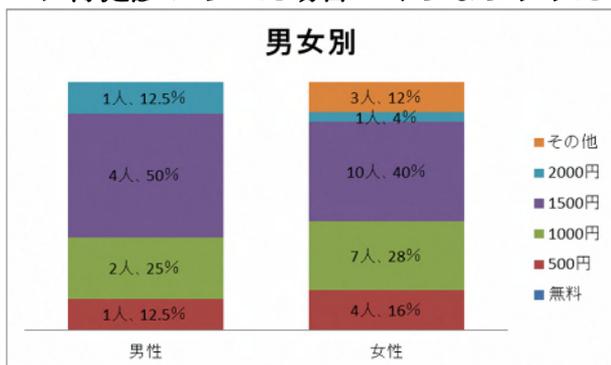




参加動機



ランチ付健診があった場合いくらならうけたいか



健康増進推進事業 ⑥ウォーキング大会

会場	カントリーパーク～合志市～
開催日	平成 30 年 10 月 14 日
参加者数	1,361 名 (申込 1,419 人)
同時開催	KOSHI 健康まつり



健康増進推進事業 ⑦リレーマラソン大会

内容	家族・職場など団体で参加可能なリレーマラソン大会
会場	カントリーパーク
開催日	平成 30 年 4 月 22 日
参加者数	222 チーム、2,080 名



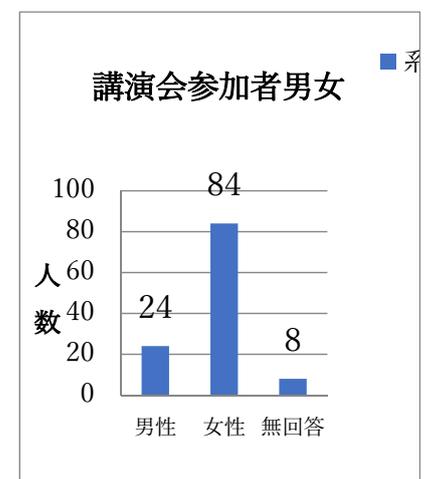
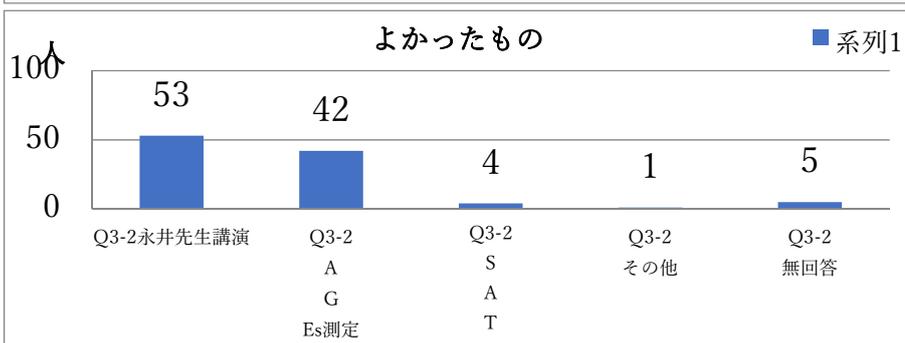
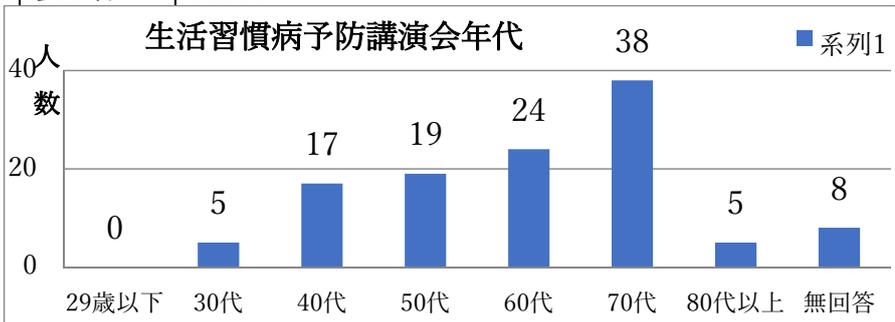
健康増進推進事業 ⑧AGE 測定

2019 年 1 月 29 日	糖尿病予防講演会	30
2019 年 1 月 31 日	臨時総会	37
2019 年 2 月 23 日	AGEs 講演会	103
2019 年 3 月 3 日	竹迫初市	35
平成 30 年度	事務局	8
平成 31 年度	事務局	5
2019 年 4 月 13 日	リレーマラソン	90
平成 30 年度	合計	213
平成 31 年度	合計	95
総合計		308



健康増進推進事業 ⑧生活習慣病予防講演会

開催日時	平成31年2月23日(土) 開演午前10時30分 終了正午
場所	御代志市民センター講堂
テーマ	「楽しく簡単にアンチエイジング」 老化物質AGEsをつくりにくい生活習慣とは
内容	①永井教授による講演 ②希望者へのAGEs測定 ②希望者へのSATシステムでの栄養指導
講師	東海大学農学部バイオサイエンス学科 永井 竜児
参加者	116 人



■市民の健康活動推進事業

◎健康ビジネス実施に向けた事業

- 目的… ウェルネスシティこうしの現在の事業を見直すことで、個人会員や協賛企業の獲得を目指し、ウェルネスシティこうしの自走化につなげる。
- 内容…事業プラン策定 ウェルネスや市、熊本大学や参画企業等との役割の整理を行う。継続的な健康活動の事業提案
 - ・ウェルネスシティこうし構想図作成(2020)
 - ・こうし健康 Lab(仮)の提案

◎拠点整備に向けた事業

- 目的 …整備予定の活動拠点を活用しウェルネスシティこうし会員や市民向けのイベントや健康診断やセミナーなどを開催することで、市民の健康意識の醸成を図る。
- 内容 調査・分析 …ウェルネスシティこうしに対する健康意識の調査を行う。また、事業継続(自走)のためには安定した収益を確保する必要があるため、合志市内にフィットネスジムを設置した場合の商圈分析も行う。

◎会員データ管理システム事業

- 目的 …会員のデータを管理できる仕組みを構築する。
- 内容 要件整理…会員データ管理システムの機能一覧や業務フローの提案を行う。当面はフィットネスジム等の会員データ管理を行うが、将来的には地域市民 ID 化を目指した要件の整理を行う。
 - ・機能要件・一覧作成
 - ・業務フロー作成

◎健康データプラットフォーム事業

- 目的…市民のニーズに応じた仕組みを提供することで、サービス向上につながる。インセンティブの付与により、自身の健康活動や意欲の向上、市産業の活性化につながる。
- 内容 要件整理…健康活動データ等の地域データプラットフォームにより地域データを一元化・流通することで、将来的な地域市民 ID・プラットフォームへの展開を目指す。また、現在ウェルネスシティこうしが活用している筐体による IC ウォークの代替案の提案を行う。
 - ・サービス連携図作成
 - ・健康アプリ立ち上げ支援

■CKD・人工透析予防事業

○分析対象

- ・特定健診のデータ 10 年分のうち、2 回以上受診かつ受診間隔が短期間(数ヶ月)を除外した対象者は 5,027 人であった。うち 10 年連続受診したデータがある受診者は、344 人だった。

○全体的傾向

- ・合志市全体として、クレアチニン値の低下速度は、一般的な値だった。
- ・全般的に、ほとんどの因子で有意差が見られず、平均値の差も目立ったものはなかった。
- ・若い世代の肥満の人で低下速度が大きかった。 ⇒飛び値の件数について、個別にチェックする必要がある。
- ・一般的な糖尿病性腎症の経過と異なり、尿蛋白が検出されなくても糖尿病となるケースが多くなっており(※それも含めて多様な病態を包括するDKD(糖尿病性腎臓病)という言葉が普及し始めている)、尿蛋白の値が参考にならなくなっている。